

## 第 18 回 全日本大学開放推進機構（UEJ）大学開放研究会のお知らせ

第一部 「学術普及の日本的展開と大学開放」

第二部 大学開放に関する共同討議

WHO が COVID-19 を公表してから 2 年半が過ぎますが、このウイルスの変異株オミクロンによる急激な感染拡大のピークを超えた感があります。一方、ウイルスに対する有効な治療薬は確立されておらず、コロナ禍コントロールの有効な手段としてはワクチン接種の普及しかない状態で、コロナ禍収束の見通しはまだ立たない状況です。With-Corona の社会体制と日常生活をどう確立していくかが現実的な課題となってきました。

全日本大学開放推進機構（略称、UEJ）の関西地区メンバーを中心に運営してきました「大学開放研究会」でも、同様に、この環境変化に対応してウェブによる研究会が定着してきました。ウェブによる研究会ですが、研究会の財政的な持続性を確保するために、有料制を取っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

UEJ は、大学を中心にした知的生涯学習を地域社会で盛んにしたいという目的で 2003（平成 15）年 2 月に設立されました。「大学開放」の実態も時代とともに多様化し、大きな広がりを見せています。このような状況を背景に「大学開放」のあり方を考察するには、その原点に戻ることが非常に重要となります。今回の研究会では、そのような視点から東京大学大学院教育学研究科研究員の菅原慶子氏に「学術普及の日本的展開と大学開放」のテーマで報告をお願いすることになりました。

UEJ 大学開放研究会代表  
河村能夫（龍谷大学名誉教授）

日 時                    2022 年 7 月 10 日（日） 13：30－17：00

開催方法                オンライン（Zoom） <http://ptix.at/Q0RSnn>

総合司会 出相 泰裕（大阪教育大学教授）

## 予定スケジュール

13：30 開会の挨拶・参加者自己紹介

13：45 第一部 （司会） 山本 珠美（青山学院大学教授）

（報告）「学術普及の日本的展開と大学開放」

菅原 慶子（東京大学大学院教育学研究科教育学研究員）

（要旨）大学への社会的要請は年々高まり、その多様性も広がっている。一方で、それに応じようとしてきた大学の実践については十分な社会的・学術的評価がなされてきたとは言い難い。今回の研究会では、大学が学外一般の人びとに対して働きかけようとする実践の日本における原初形態を大学草創期に求め、意外なルーツがあったこと、それが示す意義をみなさまと考えたいと思います。

（菅原 慶子／スガワラ ケイコ）

東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース博士後期課程を2021年3月修了。同研究科教育学研究員。<https://researchmap.jp/sugawarakeiko>

～休憩～

15：30 第二部 （司会） 佐々木 保孝（天理大学教授）

（ディスカッション） 大学開放に関する共同討議

大学開放に関わる課題などについて皆で話し合いたいテーマがありましたら、末尾のメールアドレスまで事前にご連絡ください。

17：00 終了予定

◆ 参加申込み方法 ◆

対 象： UEJ 会員の他、大学開放や本テーマに関心のある方、学生など自由にご参加ください。

参加費： UEJ 会員・一般（非会員）1,000 円 / 学生（学部・大学院）無料

申込方法： 原則として、下記リンク Peatix（ピーティックス）より web 申込みください。  
ご不明な点がございましたら、下記事務局までお気軽にお問い合わせください。

申込先：（Peatix） <http://ptix.at/Q0RSnn>

【zoom 視聴情報について】

参加申込み完了後、Peatix よりメールでお知らせします。  
（@peatix.com からのメールを受信できるように設定をお願いします）

<参考> セミナー支援サービス Peatix ヘルプページ  
<https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>

お問い合わせメールアドレス

（UEJ 大学開放研究会 事務局） [ckamiya1031@gmail.com](mailto:ckamiya1031@gmail.com)  
（大阪教育大学 出相 泰裕） [deai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:deai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)